



岩手高教組 第84回定期大会開催

5月28日に高校会館で代議員100人の参加で開催しました。開会宣言、委員長挨拶に続き来賓の挨拶がありました。委員長、来賓の挨拶の主な内容は次のとおりです。



小野寺委員長挨拶

- ・無定量に増え続ける業務削減は、人と金を出さないのであれば抜本的解決は遠い。
- ・子どもの7人に1人が相対的の貧困。給付型奨学金制度の拡充にむけてとりくむ。
- ・自分さえ、自国さえよければという発想が蔓延しないように共助の理念を堅持する。

則松日教組中央執行副委員長

- ・大分高教組の出身。高校現場にいた経験が今に生きている。
- ・47教育基本法の精神を今後も運動にいかし、ゆたかな教育の保障を続けていこう。

佐藤岩教組中央執行委員長

- ・地公共闘一体となったとりくみで、現場の教育を守っていく。
- ・ライブ授業をテレビで特集していたが、人間が人間に教える授業はかけがえがない。

八幡連合岩手会長

- ・世の中をよくする、労働者が暮らしやすい政策を実施するために連合もとりくむ。
- ・若者の政治に対する無関心が言われているが、政治と無関係でいられる人はいない。

小西和子日政連・県議会議員

- ・教育や平和に対する攻撃をはね返していかなければならない。
- ・現場の声を、政治に反映させてゆくことは大切である。

千葉進日政連・県議会議員

- ・高教組のシンボルマークの「友愛と信義」のとおり運動をすすめてほしい。
- ・命の大切さを身をもって子どもたちに伝えてほしい。

竹花せい子日政連・盛岡市議会議員

- ・東京出張時に、高校生平和大使の万人署名の活動に元気と勇気もらった。
- ・私たちが平和運動を前進させていこう。

2018年度活動経過報告を経て、第1号議案から第8号議案まで途中休憩を挟んで審議され、承認されました。修正案は、『新元号「令和」の強制使用に反対します』という1本が提出され、文言修正の上、趣旨受け入れとなりました。主な議案の内容は、「盛岡中央支部と盛岡北支部の統合」、「規約及び規定の一部改正」、「2019年度会計予算」等です。